

自治体DX推進に向けた取組について

企画政策部資産経営課

1 取組の方向性

富津市みらい構想に掲げる「誇りと愛着を持てるまち ふつつ」の実現に向けた手段としてデジタル技術を積極的に活用し、市民の利便性向上や職員の業務の効率化、地域の課題解決を図る。

資産経営課においては、そうした市内の取組を支援するため、デジタル技術の利活用に係る市内調整や相談支援、基盤整備、人材育成などに取り組む。

2 取組事項

(1) デジタル技術を活用した市民サービスの向上

行政サービスに係る市民の時間の有効活用や負担軽減につながるよう、新たなICTツール等の利活用を推進する。

【令和5年度の取組事項】

- ・行政手続のオンライン化の推進
- ・市民の利便性向上につながる新たなデジタルサービス（書かない窓口、マイナンバーカードを活用した自治体ポイントなど）の調査研究

(2) 行政事務におけるデジタル技術の活用推進

限られた人員で多様な市民ニーズに対応するため、デジタル技術を活用して業務の効率化を図り、職員がより創造性の高い業務や市民サービスに注力できる環境につなげていく。

【令和5年度の取組事項】

- ・自治体の業務システムの標準化・共通化
- ・タブレット端末等を活用したペーパーレス化の推進
- ・文書決裁事務の電子化に向けた調査研究

(3) デジタル技術の活用による地域課題の解決

富津市みらい構想で掲げた8つの施策テーマを推進するため、他団体の先進事例等も参考にしながら、デジタルの力を活用して各テーマにおける課題解決を図る。

【令和5年度の取組事項】

- ・デジタル利活用の機運醸成のための階層別研修の実施
- ・市内への情報提供の充実、相談支援